

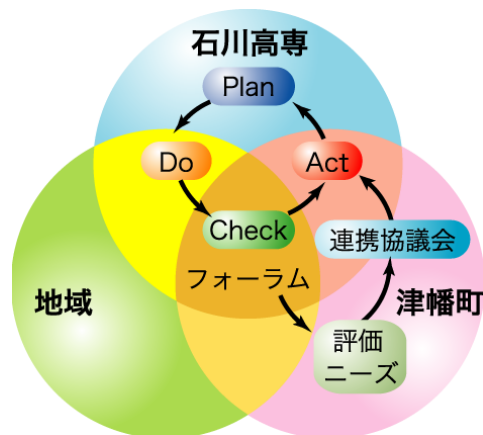
### 3. 評価体制

#### 3.1 河北潟フォーラム・学町連携協議会システムを活用した評価

本取組の1年間の成果は「河北潟フォーラム」にて公开发表され、フォーラム参加学生、地域住民、河北潟関連NPO団体、行政そして企業など、幅広い立場から取組に対して意見を集約（議論及びアンケートの実施）する。

次年度のアクション・プランとして、現代GPワーキングが取りまとめを行う。さらに学町連携協議会において協議を行い、GP取組事業として決定する。

最終的に学内のコンセンサスを得て次年度のシラバスに反映させる。



#### 3.2 環境再生医 認定校システムを活用した評価

本取組を中心とする、専攻科のプログラムは「環境再生医初級」(<http://www.narec.or.jp/>)で示された指標によりチェックを受けることで、本取組システムが客観的な外部評価を交えて評価されるように工夫している。

#### 3.3 取組期間終了後における評価体制

学町連携協議会は町と学校の業務提携により実現されているため、GP取組終了後においても継続は可能である。また環境再生医認定校による評価体制に関しても資格検定委嘱制度として保証されるので、GP取組終了後も継続が可能である。